

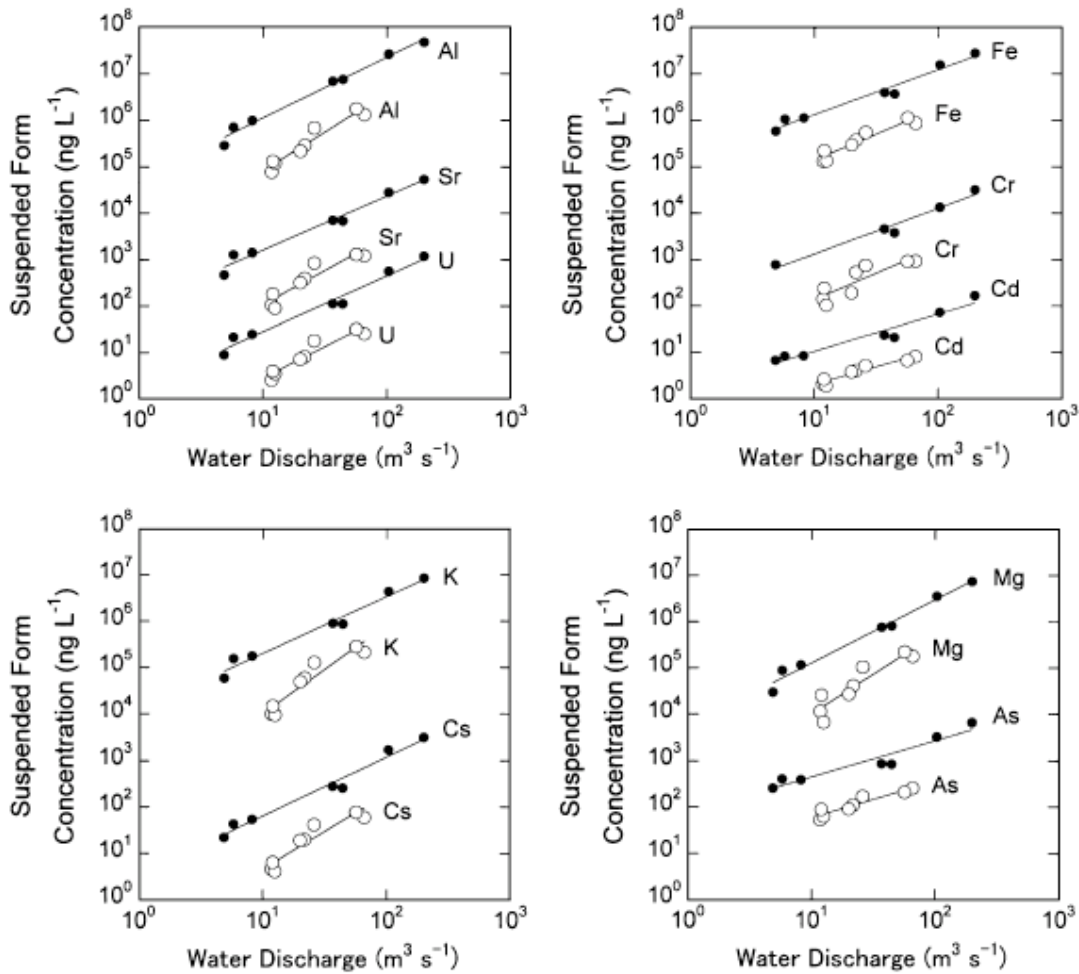
# 1. 基本情報

区分	河川	担当者名	松永 武
タイトル (英文)	Particulate and dissolved elemental loads in the Kuji River related to discharge rate		
タイトル (和文)	久慈川における粒子状ならびに溶存性の元素移行		
キーワード	fluvial transport, Kuji river, stable elements, seasonal variation		
著者	Nagano, T., Yanase N., Tsuduki, K., Nagao, S.		
文献	Environment International 28 (2003) 649- 658.		

## (1) 対象地域

茨城県久慈川下流

## (2) 重要な図表



River water discharge dependence of suspended form concentration of selected elements in the Kuji River. The marks of ○ and ● stand for data during autumn– winter and during summer, respectively.

## 2. 提言につながる情報

### (1) モニタリングへの活用

懸濁物を採取してその核種濃度やフラックスを検討する場合に、懸濁物の起源を考慮するにあたり有用な情報が与えられている。たとえば、流量-懸濁物濃度の関係を季節的に分離すべき事が挙げられる。

### (2) 流出挙動・経路

河川における核種の移動担体として懸濁物に着目。流域固有の水文条件が懸濁物の内容と量にどのように影響を与えるかを出発点にしている。その影響を実地に観測し、季節効果、降雨という流況効果を見た。さらに、運搬される微量元素のフラックスも評価した。

### (3) 除染の際の留意点

放射性セシウムは河川内で堆積することがあるが、放射性ストロンチウムは流下してしまう特性は、河川内の放射性ホットスポット形成と対応に関して、知っておくべき基本情報となる。

### (4) 担当者のコメント

また、Cs、Sr に関して、安定・放射性の同位体の固液分配が論ぜられており、類似元素の適用と限界について示唆が与えられている。また、他の微量元素も含めて、懸濁態輸送と溶存態輸送の相対的な役割比較が示されており、セシウム以外の核種の挙動理解にも役立つ。